

## 文化芸術振興

アナ： 『市長が語る 2022 三島』第24回の今日は、「文化芸術振興」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： はじめに文化芸術の振興について、三島市ではどのような取り組みをされているのか教えてください。

市長： はい。

まず、令和2年度に見直しを行いました文化振興基本計画 後期計画に基づき、文化活動に関する相談窓口を文化振興課内に設けまして、市民の皆様が、身近な場所で文化にふれることができるよう、また、様々な文化活動を、積極的に、また、円滑に行っていただくことができるよう、お手伝いしております。

「イベントを開催したいが、どの施設が利用できるかわからない。」

「自分の作品を発表したいけれど、どうしたらよいか。」

といった、活動を行っていく上での疑問にお答えすることなどを通じて、市民の皆様の創作・発表活動などを支援しておりますので、ぜひご活用いただきたいと存じます。

アナ： 文化関連イベントを開催したい場合や自ら製作した作品を発表したい場合など、一步を踏み出すきっかけとして、とても心強いサポートですね。

その他に、取り組んでいらっしゃることはありますか。

市長： はい。

その他、市の文化芸術振興に関わる取り組みといたしまして、市内在住の絵本作家 宮西達也先生によるワークショップや

市内の中学2年生全員を対象にした、クラシックコンサートの鑑賞方法を学ぶ芸術鑑賞教室、幼稚園・保育園児を対象にした静岡県舞台芸術センター（SPAC（スパック））所属俳優による楽器の生演奏、

手遊び歌を交えたおはなし劇場を開催し、

子供たちに質の高い文化・芸術に触れる機会を提供してまいります。

また、三島市の名誉市民であります大岡信氏の顕彰事業を行っています。

今年度は、市内小学生を対象に、大岡信氏のことをより深く知ってもらうため、9月下旬から1校につき2週間程度ずつ、関連書籍等の巡回展示を行ってまいります。

アナ： 子どもたちが身近な場所で、質の高い文化・芸術に接することができるのはとても素晴らしいことですね。

市長： ありがとうございます。

加えて、例年実施しております「合唱祭」、「芸術祭」、「演劇祭」、  
「文芸三島の発行」につきましても、引き続き行います。

そして、昨年度は新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ実施を見送った  
三島市制80周年記念演奏会「ベートーヴェンの交響曲第9番」を11月に  
お届けいたします。

マスク着用となるかと思いますが、新型コロナウイルス感染症対策を万全に講  
じた上で、コロナ禍からの再生を願い、市民の皆様の合唱で高らかに「歓喜の歌」  
を  
歌いあげます。

また、昨年度初めて開催し、大好評をいただきました国内有名オーケストラの  
トッププレイヤーによる「三島せせらぎ音楽祭」を、来年2月に開催いたします。

アナ： とても楽しみな企画が続きますね。

最後に、市民の皆様にお伝えしたいことがありましたら、お願いします。

市長： はい。

佐野美術館は、昨年創立55周年を迎え、今年度は6回の特別展を  
予定しております。

9月3日からは、欧米で愛され、繊細で色彩豊かな「小原古邨（おはらこそん）」  
の特別展を開催しており、10月29日からは、現在放映中のNHKの  
大河ドラマにちなんで、「鎌倉殿」と武将たちの浮世絵版画展を市との共催で  
開催予定ですので、足をお運びいただけますと幸いです。

三島市では、これからも感染症対策を講じた上で、「文化芸術を楽しみたい」  
という市民の皆様の期待にできる限り応えられるよう、積極的に事業を  
実施するとともに、引き続き、皆様の創作・発表・鑑賞等の文化活動を  
支援してまいりたいと考えております。

アナ： 豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。